

令和2年7月20日

会 員 各位

(公社) 岡山県獣医師会
会 長 春 名 章 宏

広島県における獣医師の重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発症事例
の情報提供について

標記の疾病について、広島県獣医師会から日本獣医師会をとおり、広島県において感染したネコの診察・治療を行った獣医師の発症について別紙のとおり小動物開業部会員あて情報提供した旨通知したとの情報提供があったのでお知らせします。

広島県健康福祉局の通知にありますとおり、病気の犬や猫に触れる機会の多い獣医療関係者は、SFTSウイルスの感染リスクが高いと考えられることから、臨告等から感染の疑われる猫等を診察する際には感染防護対策の実施にご配慮いただきますようよろしく申し上げます。

(添付資料)

- 1 広島県獣医師会長の小動物開業部会員あての通知
- 2 広島県健康福祉局長の広島県獣医師会会長あての通知

写

広島獣第53号
令和2年7月6日

小動物開業部会員 様

公益社団法人広島県獣医師会
会長 木原敏博
(公印省略)

ネコから重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルスに感染し
SFTSを発症したとみられる事例の発生について

平素から、本会の事業推進に格別なご協力 ご理解を賜り厚く感謝申し上げます。

このことについて、広島県健康福祉局長から、別紙写しのとおり通知がありました。

については、感染予防対策を徹底していただくようお願いいたします。

猫の診察時には、猫が家から外出するかどうかの確認とダニ予防の確認を行ってください。症状、検査ではその場ではSFTSと判断できかねませんので、外出歴あり、ダニ予防歴なしの猫の診察時には、ゴム手袋、ゴーグル、フェイスガード等を装着し診察するようにしてください。

令和2年7月3日

公益社団法人広島県獣医師会会長 様

広島県健康福祉局長

〒734-0007 広島市南区皆実町1-6-29
健康対策課

ネコから重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルスに感染し、
SFTSを発症したとみられる事例の発生について（通知）

平素から、感染症対策の推進について御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

令和2年6月25日に、県内で、ネコを診察・治療した獣医師が、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に感染した事例が確認されました。

当該獣医師は30歳代男性で、治療中にSFTS陽性のネコの体液に触れており、治療11日後に、発熱、全身倦怠感等の症状を呈し、検査の結果、SFTS陽性でした。

また、厚生労働省及び国立感染症研究所が発行する「病原微生物検出情報 Vol. 40 (No. 473) 2019年7月」においても、マダニに直接咬まれたことによらず、SFTSウイルスに感染した動物（ネコやイヌ）との接触によりSFTSを発症した患者が報告されています。

については、病気のネコやイヌに触れる機会の多い獣医療関係者は、SFTSウイルスの感染リスクがより高いと考えられることから、患畜の取扱いには手袋を着用するなど、標準感染予防策及び必要に応じて接触感染予防策を徹底いただくよう貴会会員への周知をお願いします。

担当 感染症疾病管理グループ

電話 082-513-3068 (ダイヤル)

(担当者 高橋)